

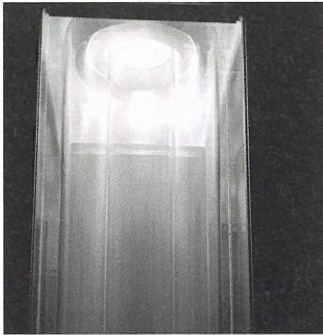
シビックセンター 探訪⑥

二戸市シビックセンター
☎25-5411

神秘的な光のカーテン

今年も残すところあと1カ月となりました。寒さも厳しさを増し、これから長い冬へと入ります。

さて、冬といえば『オーロラ』を思い浮かべる人もいるのではないのでしょうか。オーロラは、緯度が60〜70度と比較的高緯度の場所で発生する、天空を彩る発光現象で、カナダやアラスカ、北欧などが観測地として有名です。カーテン状にゆらめく幻想的な光を目当てにしたオーロラ観測の旅は、旅行会社の冬の人気ツアーにもなっています。誰もが一度は見てみたいと憧れるオーロラですが、時間



神秘的な光が放たれます

や予算でお悩みの人は多いと思います。そんなお悩みを持つ皆さんに朗報です。海外まで足を運ばなくてもオーロラを鑑賞できる場所があります。それが、シビックセンター田中館愛橋記念科学館です。「えっ?!北緯40度の二戸でオーロラ?」と思われる人もいると思いますが、実は科学館には、日本に数台しかないというオーロラ発生装置が備えてあり、いつでも鑑賞できます。屋内ですので、天候や気温を気にすることなくいつでもご覧いただけます。この冬の思い出づくりをお考えの親御さんは、子ども連れでぜひシビックセンターに足をお運びください。

こみゆにTeaたいむ

6 林目

地域のでよみがえる奥州街道

街道歩きがブームを呼んでいるのか、古地図を頼りに訪ねて来る人たちが増えてきました。日本最長の奥州街道の道筋にある二戸市内には、ところどころに追分石や一里塚などが残っていて、昔の往来の様子をしのびながらの街道歩きが楽しめます。

二戸市の最北に位置する釜沢地域の「蓑ヶ坂(みのがさか)」は、大ムカデ伝説*1とともに、奥州街道随一の眺望を持つ「駕籠(かご)立場」への峠道として名をはせています。しかし、平成11年の土砂災害があつてからは廃道寸前の状態にありました。

昨年になって釜沢地域で「峠道を通行できるようにしよう」という気運が高まり、地域総出の草刈を中心とした道普請が行われました。今年は狭くなった所の土砂を取り除く作業を行い、さらに歩きやすい道となりました。そのことが口コミで伝わったのか、この秋、グループや団体の蓑ヶ坂探訪会が盛んに行われ、かなりの賑わいをみせました。

地域の行動を促した小原敏博さんは「やっと峠越えの希望に応えることができた」と笑顔を見せました。安堵感に包まれ、達成感に満ちた表情です。

地域一丸となった活動は、釜沢地域の奥州街道を見事によみがえらせました。そしてそればかりか、蓑ヶ坂の往来を守り続けて来たこの地域の誇りをも、復活させたようです。

あなたの地域にもこんな可能性を秘めた「宝」がきっとあるはず。地域を見つめ直し探してみたいかがでしょう。

*1 大ムカデ伝説

峠道にさしかかった旅人が雨にふられ困っていると、木に蓑と笠がつるしてあった。それを着用した旅人はこつ然と姿が見えなくなった。後に近くの沼で大ムカデが退治され、多くの旅人を襲ったことが明らかになった。いつしかその場所を蓑ヶ坂(みのがさか)と呼ぶようになった。



地域総出の道普請



絶景を楽しむ奥州街道探訪会

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課(内線654)まで